

大分県民スポーツ大会における 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

大分県民スポーツ大会実行委員会
令和3年6月8日

※令和3年11月18日一部更新
※令和4年6月9日一部更新

目 次

1	目的	p. 2
2	対象	p. 2
3	参加の可否	p. 2
4	大会における共通予防対策	p. 2
5	大会における参加カテゴリー別の重点対策	p. 3
	(1) 選手・監督（予備登録選手、所属チームスタッフ含む）	
	(2) 競技団体	
	(3) 郡市体育・スポーツ協会	
	(4) 報道員	
	(5) 大会役員	
	(6) 大会視察員	
	(7) 観客	
6	大会における競技会運営上の重点対策	p. 5
	(1) 監督会議、開会式、表彰式（競技団体において実施）について	
	(2) 競技会場について	
	(3) 受付等について	
	(4) 手洗い場所・トイレについて	
	(5) 控室・更衣室等の諸室について	
	(6) 待機席について	
	(7) 会場地入りから競技会期間中の移動について	
	(8) 宿舎について	
7	体調不良者発生時の対応	p. 7
	(1) 競技会場について	
	(2) 会期後について	
	(3) 感染者発生周知方法について	
8	健康チェックシート	p. 7
	(1) 選手団（選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む））	
	(2) 競技会運営者（競技会役員、競技役員、競技補助員等）	
9	医療機関等への電話相談・受診	p. 7
10	新型コロナウイルスに関する相談窓口	p. 8
11	大会開催可否判断	p. 9
12	参考資料・情報サイト	p. 10

別添	フロー図 1	健康チェックシート確認の流れ	p. 11
	フロー図 2	大会期間中・終了後の感染及び体調不良者(疑い)発生時の対応	p. 12
		参加判断基準	p. 13
	フロー図 3	感染対策組織体制(例)	p. 14
	フォーマット	競技別新型コロナウイルス感染防止対策(ガイドライン)について	p. 15
別紙	様式 1	健康チェックシート (大会当日まで)	p. 16
	様式 2	健康チェックシート (2日目以降)	p. 17

1. 目的

本ガイドラインは、本県の競技会開催にあたって新型コロナウイルスの感染防止のため、競技会における、各主体の役割分担や参加者が遵守すべき事項を定めるとともに、競技団体において実施することが望ましい標準的な対策をとりまとめたものである。

なお、競技固有の特性により必要となる対策は、各中央競技団体等が定めるガイドラインに従い実施するものとする。

2. 対象

本ガイドラインは、大分県民スポーツ大会（以下、「県大会」という。）に参加・参画するすべての者（以下、「参加者」という。）を対象とする。

3. 大会参加の可否

ア 以下の事項が確認された場合

発熱、風邪症状、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、味覚嗅覚異常などの症状のいずれかがある場合

イ 新型コロナウイルス感染者と濃厚接触者と判断された場合

ウ 会場地入り前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合



ア・イ・ウのいずれか一つでも該当すれば、参加を認めない。

※ただし、アについては、病院受診による医師からの診断書（感染なし）の提出により、参加を認める。

4. 大会における共通予防対策

①県大会の開催にあたり、すべての参加者が、感染予防対策を確実に実践し感染拡大防止に務めること。

②以下の事項を感染予防対策の基本とし、参加者は様々な場面において予防対策の確実な実施に向け準備・運営にあたること。

<県大会における共通予防対策基本事項>

- 手指衛生の励行
- 競技及びウォームアップ実施中以外、常時マスクの着用
- フィジカルディスタンスの確保
- 「3密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避（できる限り「ゼロ密」を目指す）
- 禁煙の推奨
- 毎日の健康と行動の記録の事前提出・必要に応じた事後報告
- 体調不良の場合（例：発熱、風邪症状、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、味覚嗅覚の異常等）の参加自粛
- 大声での会話・応援の自粛
- 接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨
- 大会期間中の大人数での会食の自粛
- 選手、関係者などのゾーニング確保・エリアコントロールの徹底
- 諸室、共用物品の消毒の徹底

- ③参加者は大会期間中、毎日朝夕検温を実施し、会場地入り14日間前からの健康状態を確認すること。大会当日までの体調を健康チェックシート※1の記載をした上で、各競技大会受付へ提出すること。なお、選手団は、監督が取りまとめて提出すること。

※1 提出の流れは、健康チェックシート確認の流れ **フロー図1** を参考にすること。

体温チェックの流れ

会場地入り14日前～	会場	
	初回受付	2回目以降受付
チェックシートに 2週間の体調記録を記入	・チェックシートの提出 【会場地入り前から当日分】 ・検温	・チェックシートの提出 【当日分】 ・検温

- ⑤入場時には、検温を受けること。
- ⑥会場内では、原則としてマスク（必要によってはフェイスシールド）を着用すること。ただし競技及びウォームアップ実施中の選手は除く。
- ⑦飛沫感染や接触感染防止のため、以下による応援は控えること。
- ア 大声で歌を歌う、大声を出しての応援、指笛
 - イ メガホン、トランペットなど道具・楽器の使用
 - ウ タオル、フラッグ等を振り回す
 - エ ハイタッチ、肩組み
- ⑧会場を出た日の翌日から7日間、自主的に起床時体温、体調及び行動を毎日記録すること。
- ⑨会場を出た日の翌日から7日間に新型コロナウイルス感染症へ感染した場合は、速やかに県大会事務局へ報告※2すること。

※2 報告の流れは、大会期間中感染発生（疑いを含む）の場合 **フロー図2** を参考にすること。

5. 大会における参加カテゴリー別の重点対策

(1) 選手・監督（予備登録選手、所属チームスタッフ含む）

- ①毎日の健康（起床直後の検温等）と行動の記録を習慣とする。現地入り14日前から健康状態、行動内容を健康チェックシート（別紙 様式1・様式2）※1に記録し当日受付へ提出する。現地出7日後までの健康状態は、各自で記録・管理すること。

※有に一つでもチェックがあれば、当該都市の監督に連絡し、不参加の措置をとる。

記入の不備があれば再提出を求める。

※1 健康チェックシート （別紙 様式1（大会当日まで） 様式2（2日目以降））

- ②監督は、選手の健康状態、行動内容を常に把握・管理する。また、監督はエントリー者の健康チェックシート（監督・選手・コーチ等）チェックシートをとりまとめて確認する。
- ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないか常に確認する。
- ④会場派遣前に体調不良（例：例：発熱、風邪症状、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠

感)、味覚嗅覚の異常等)が出現した場合、平素の活動を中止し、かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は「受診・相談センター」※4に電話相談の上、必要に応じてPCR検査等を受ける。

⑤参加者は、厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」を活用するよう努める。

※4 「受診・相談センター」への連絡の流れは、

10. **新型コロナウイルスに関する相談窓口**を参照すること。

(2) 競技団体

①各中央競技団体等が定めるガイドラインに基づき、適切な感染防止対策を講じた競技運営を実施する。

②競技別で**感染対策総括責任者**を設置し、感染対策の組織図を作成する。※5

③競技別ガイドライン(方針)を作成し、関係者へ周知を行う。※6

④本ガイドライン等に基づき、各競技会場における具体的な感染防止対策を関係郡市及び施設管理者と検討し、実施する。

⑤参加者全員分の健康チェックシートを、大会当日に全て回収する。保管は、**感染対策総括責任者**が行う。保健所や県大会事務局から提出を求められた場合は提出する。保管期間(会期後14日間)終了後は廃棄する。

※5 **競技会内の感染対策** フロー図3

※6 **新型コロナウイルス感染防止対策について** フォーマット

(3) 郡市体育・スポーツ協会

①郡市の**感染対策の責任者**は、県民スポーツ大会担当者(別紙名簿参照)とする。

②大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以外に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、感染者及び濃厚接触者は参加を辞退させる。または、派遣を取り消す。

③会場地派遣前に体調不良(例:発熱、風邪症状、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、味覚嗅覚の異常等)が出現した場合、平素の活動を中止し、かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は「受診・相談センター」※3に電話相談の上、必要に応じてPCR検査等を受ける。

④参加者は、厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」を活用するよう努める。

(4) 報道員

①会場受付で必ず検温すること。

・体調によっては、受付時に事前に大会への来場を断る場合がある。

②取材日ごとに受付を行うとともに、報道員ビブス及び自社腕章を着用すること。

③取材人数は、出来る限り少なくすること。

④会場(取材エリア/撮影エリアなど)の規模により人数を設定し制限すること。

⑤撮影エリアは身体的距離で区切ること。または設定できる撮影エリア内での身体的距離をカメラマン同士で調整するよう呼びかけること。

⑥マイク、スピーカーの利用や、オンラインの活用など競技者とメディアの位置を分ける方法も検討すること。

(5) 大会役員

①会場受付で必ず検温すること。

・体調によっては、受付時に事前に大会への来場を断る場合がある。

②来場人数は、出来る限り少なくすること。

(6) 大会視察員(各郡市本部役員を含む)

①会場受付で必ず検温すること。

・体調によっては、受付時に事前に大会への来場を断る場合がある。

②来場人数は、出来る限り少なくすること。

(7) 観客

- ・原則、感染対策が取れない場合は無観客とする。(競技別)

6. 大会における競技会運営上の重点対策

(1) 監督会議、開始式、表彰式(競技団体において実施)について

①監督会議

- ・監督会議は、感染拡大防止の観点から各競技団体で協議し、事前に必要な連絡事項をメール、書面等で周知する等の工夫すること。実施する場合は、参加人数の制限による間隔の確保など感染防止対策を講じること。

②開始式、表彰式

- ・各競技の開始式や表彰式は、感染拡大防止の観点から、できるだけ簡素化することとする。実施する場合は、極力、参加人数の制限による間隔の確保やプログラムの見直しによる時間短縮など感染防止対策を講じること。

(2) 競技会場について

- ①競技会場では、設置された消毒液の使用やこまめな手洗いなどによる手指衛生の徹底を図る。
- ②競技会場内での移動や待機時は、マスクを着用する。
- ③競技会場入場時、検温を行う。
- ④競技会場における導線やエリアコントロール等のゾーニングなどについては各競技責任者の指示に従う。
- ⑤参加者は、健康チェックシートを提出する。
- ⑥ロッカー(更衣)室や選手参集エリアなどでは、運営者の指示等に従い、「3密」を回避する行動をとる。また、不要な会話・接触は控える。
- ⑦ウォームアップを行う場合は、各競技本部の指示等に従い、「3密」を回避する行動をとる。
- ⑧水分補給のためのペットボトル等の共用はしない。
- ⑨声援や掛け声は、避けるよう努める。選手用の座席は、郡市ごと区分けし、極力離れた場所を用意する。
- ⑩事前に申請を承認された報道員(報道員ビブス等を着用した者)からの取材を受ける場合は、運営者の指示等により予め指定された場所でのみ対応する。また、対応時は、必ずマスクを着用し、相手との距離(できるだけ2m、最低1m)を保つ。なお、運営者の指示等に従わない者(ビブス等を着用していない者やマスク未着用の者からの取材、所定の場所以外での取材等)からの求めには応じない。
- ⑪シャワールームの利用は原則禁止とする。

(3) 受付等について

- ①受付には、手指消毒用アルコールを設置すること。
- ②人と人が対面する場所は、できるかぎりの感染対策をすること。
- ③参加者が身体的距離(できるだけ2m)をおいて、並べるように目印の設置等を行うこと。
- ④来場者には、必ず検温を行うこと。
- ⑤会場受付において、健康チェックシートを提出、体調確認を受けるとともに、検温を受ける。(検温は、再入場時にも受ける。)
- ⑥受付担当者は、受付対象者に健康チェックシートの提出を求め、以下のとおり対応する。
 - ・チェックシートにより、会場地入り前までの体温等の記録及び当日の体調について問題がないことに加え、当日の検温の際に、発熱、風邪症状、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、味覚嗅覚の異常等の症状がないかを確認する。
 - ・チェックシートで体調不良者または症状が確認された者については、入場できないものとする。(入場を許可しない)また、受付担当者は、**感染対策総括責任者**に報告の上、帰宅(ま

たは帰宿)を促し、医療機関等への電話相談するように伝える。

⑦健康チェックシートに記入の不備がある場合は、不足項目を確認の上、再提出を求める。

(4) 手洗い場所・トイレについて

- ①手洗い場所には石けん(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
- ②手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を求めること(手指を乾燥させる設備(ハンドドライヤー等)は使用しないこと)
- ③トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること。
- ④トイレの出入口は、手指消毒用アルコールを用意すること。
- ⑤洋式トイレは、蓋をして汚物を流すことを求めること。

(5) 控室・更衣室等の諸室について

- ①広さにはゆとりを持たせ、密になることを避けること。
- ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒すること。
- ④換気扇を回す、窓を開ける等、換気に配慮すること。
- ⑤マスクの着用、会話を控えることを求めること。

(6) 観客席

- ①観覧にあたっては、身体的距離(できるだけ2m)を十分に確保することを求めること。
- ②収容人数については、県や開催地・開催施設の方針に従うこと。

(7) 待機席について

- ①待機席については、身体的距離(できるだけ2m)を十分に確保することを求めること。
- ②収容人数については、郡市や開催施設の方針や指示に従うこと。

(8) 会場地入りから競技会期間中の移動について

- ①宿舎出発前に検温を行い、健康状態を記録する。
- ②チーム専用の移動手段とすることが望ましい。
- ③公共交通機関を利用する場合は、感染予防の観点から移動中のマスクの着用、手指衛生の徹底、必要に応じた換気の実施、必要以上の会話や飲食は避けさらに可能な限り、一般客との接触を避ける。

(9) 宿舎について

- ①部屋割りは、一人部屋が望ましい。
- ②食事の際は、できるだけ個食・黙食とする。また、人数制限など宿舎からの指示等に従う。
- ③チームのミーティングなどは、ビデオ会議(オンラインミーティング)を活用し、選手らの接触を、極力避ける。対面で実施する場合は、部屋の広さ(参加者間ができるだけ2m、最低1m)や換気に留意し、「3密」の状態とならないようにする。
- ④選手の治療やコンディショニングに際しては、多数が一度に集まらないように工夫し、部屋の換気を繰り返す。マスク・手袋・手指消毒など標準予防策(病院や介護施設で疑われている感染予防策)をとった上で対応する。また、環境や使用する器具等の消毒を行う。
- ⑤体調の異変(例:発熱、風邪症状、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、味覚嗅覚の異常等の症状)を訴える者が出た場合は、速やかに体調不良者を隔離する。また、該当チームの監督は、郡市体育・スポーツ協会**感染対策の責任者**に連絡し、その後の相談・受診させる。検査等の動きについては、本人、もしくはチーム監督が行う。審判・競技役員・補助員等に該当者が出た場合は、該当競技**感染対策総括責任者**が調整を行う。県大会事務局へ報

告は、郡市体育・スポーツ協会**感染対策の責任者**並びに**競技感染対策総括責任者**が行う。

7. 体調不良者発生時の対応

(1) 競技会場について

①受付

- ア 競技会場の受付にて体調不良者を確認した場合は、速やかに**感染対策総括責任者**へ報告し、会場内への入場を許可せず、帰宅または帰宿させる。
- イ 体調不良者が帰宅、帰宿または、医療機関を受診する際は、自家用車または所属チームが用意する選手団専用車で移動する。

②競技会場内

- ア 競技会場には、体調不良者を隔離できる隔離室を用意しておく。
- イ 体調不良者に対応する者を極力制限(できるだけ担当者1名)し、対応時に必ずマスク及びフェイスシールド、手袋を着用する。
- ウ 体調不良者は、隔離室に隔離するとともに、該当する所属チームの監督は**感染対策総括責任者**に連絡する。状況を判断し、速やかに、診療・検査医療機関等へ電話相談し、指示を受ける。
- エ 体調不良者が競技会場から帰宅、帰宿または医療機関を受診する際は、原則、自家用車または所属チームが用意するチーム専用で移動する。
- オ 隔離室は窓を開放するなど可能な限り換気を行い、体調不良者が退室した後は、接触部分(ドアノブ、机、椅子など全て)を消毒する。

(2) 会期後について

- ①**会場地を出た日の翌日から7日の間**に、選手・監督・コーチ等から新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は、所属チームの監督を通じて、郡市体育・スポーツ協会**感染対策の責任者**へ速やかに報告する。郡市体育・スポーツ協会**感染対策の責任者**は感染者の報告を受けた場合は、速やかに県大会事務局へ連絡する。
- ②各競技責任者が競技大会役員・審判・補助員等から感染者の報告を受けた場合は、速やかに県大会事務局へ報告する。

※ **フロー図2**を参考にすること。

(3) 感染者発生周知方法について

※ **フロー図2**を参考にすること。

8. 健康チェックシート

- (1) 選手団(選手・監督・コーチ(チームスタッフを含む))
チェックシートは、様式1 様式2 を使用すること。
※名前・連絡先・所属を必ず明記すること。
- (2) 競技会運営者(競技会役員、競技役員、競技補助員等※成人に限る)
チェックシートは、様式1 様式2 を使用すること。
※名前・連絡先・所属を必ず明記すること。

9. 医療機関等への電話相談・受診

- (1) かかりつけ医等の最寄りの医療機関又は「受診・相談センター」※に電話相談の上、指示を受ける。
- (2) 診療・検査医療機関または、「受診・相談センター」(以下、「診療・検査医療機関等」という)へ相談した場合、医療機関への受診が必要となった場合には、電話の内容(受けた指示等)について、体調不良者が発生した所属チームの監督から郡市体育・スポーツ協会**感染対策の責任者**に報告する。

- (3) **感染対策総括責任者**は、診療・検査医療機関等へ電話相談した報告を受けた場合、速やかに県大会事務局へ報告する。
- (4) 県大会事務局は、該当会場地である郡市体育・スポーツ協会に連絡する。
- (5) 医療機関やかかりつけ医等への移動は、原則、本人又は所属チームが行う。

※ **フロー図2**を参考にすること。

10. 新型コロナウイルスに関する相談窓口

相談窓口は、大分県ホームページをご覧ください。

大分県トップページ > 新型コロナウイルスに関するお知らせ > 受診や予防に関する相談



※ 「診療・検査医療機関」については、ホームページ上で確認できます。

- 東部保健所管内 (別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)
- 中部保健所管内 (臼杵市、津久見市、由布市)
- 南部保健所管内 (佐伯市)
- 豊肥保健所管内 (竹田市、豊後大野市)
- 西部保健所管内 (日田市、九重町、玖珠町)
- 北部保健所管内 (中津市、豊後高田市、宇佐市)
- 大分市保健所管内 (大分市)

11. 大会開催可否判断（通知方法）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、郡市体育・スポーツ協会並びに各競技団体に対する状況確認を行った上で、主催者（県大会実行委員会）は、大会開催可否について検討し、会長が判断する。

- (1) 新型インフルエンザ等特別処置法に基づく緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が、大分県に発令された場合
- (2) 主催者が、開催市町村医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れが対応不可またはその恐れがあると判断した場合
- (3) 各郡市選手団の参集が困難となった場合
- (4) 各競技団体の競技運営に係る者の参集が困難となった場合
- (5) 競技会に参加している者及び競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- (6) その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合

通知方法

- ・中止連絡は、大分県のホームページ上に旨等を記載する他、大会本部から以下のとおり電話連絡、メールにて通知を行う。

県大会事務局
(県民スポーツ大会
実行委員会)



連絡先
県スポーツ協会担当者
各郡市体育・スポーツ協会
各競技団体
県ホームページ
報道機関

12. 参考資料・情報サイト

【参考資料・情報サイト】

- 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
【令和3年11月5日更新版】
- 公益財団法人日本スポーツ協会「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」【第2版 2021/5/24】
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/kokutai/pdf/basic-policy_ver.2_20210524.pdf
- いちご一会とちぎ国体競技会における新型コロナウイルス感染症 感染防止ガイドライン
【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会〔第3版〕令和3年12月】
- 令和4年度国民体育大会第42回九州ブロック大会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン
【第42回九州ブロック大会熊本県実行委員会〔第1版〕令和4年4月5日】
- 「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン〈中央競技団体作成ガイドライン〉」
<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>
- 厚生労働省「相談・受診の目安」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 厚生労働省「新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（日本環境感染学会とりまとめ）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html
- 厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A」（一般の方向け）【令和3年11月8日版】
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html
- 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の”いま”に関する11の知識」【2021年11月版】
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- WHO
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/question-and-answers-hub/q-a-detail/coronavirus-disease-covid-19>

健康チェックシート確認の流れ

- 提出物
 ◎大会当日
 チェックシート（様式1）
 ◎2日目以降
 チェックシート（様式2）

<競技役員等>

※大会に関わる役員・審判・補助員は個別に受付へ提出する。

<監督>

◎監督・選手・コーチ等
 エントリー者全員の
 チェックシートをとりま
 とめて確認する。

※チェックシートの【有】に一つでもチェックがあれば、参加させない。ただし、病院受診による医師の診断書（感染なし）の提出がされた場合は、参加を認める。

提出
報告

<健康チェックシート 受付担当者>

<業務内容>

○健康チェックシートの回収及び確認をし、健康状態、行動歴に【有】に一つでもチェックが入っていれば、すみやかに**感染対策総括責任者**に報告する。

○郡市、氏名、住所、連絡先等、記入の不備があれば再提出を求める。

提出
報告

<感染対策 総括責任者>

<業務内容>

○健康チェックシートの健康状態、行動歴に【有】の対象者に対して、不参加を申し伝える。

○参加者全ての健康チェックシートを保管する。
※会期後14日間の保管（厳守）

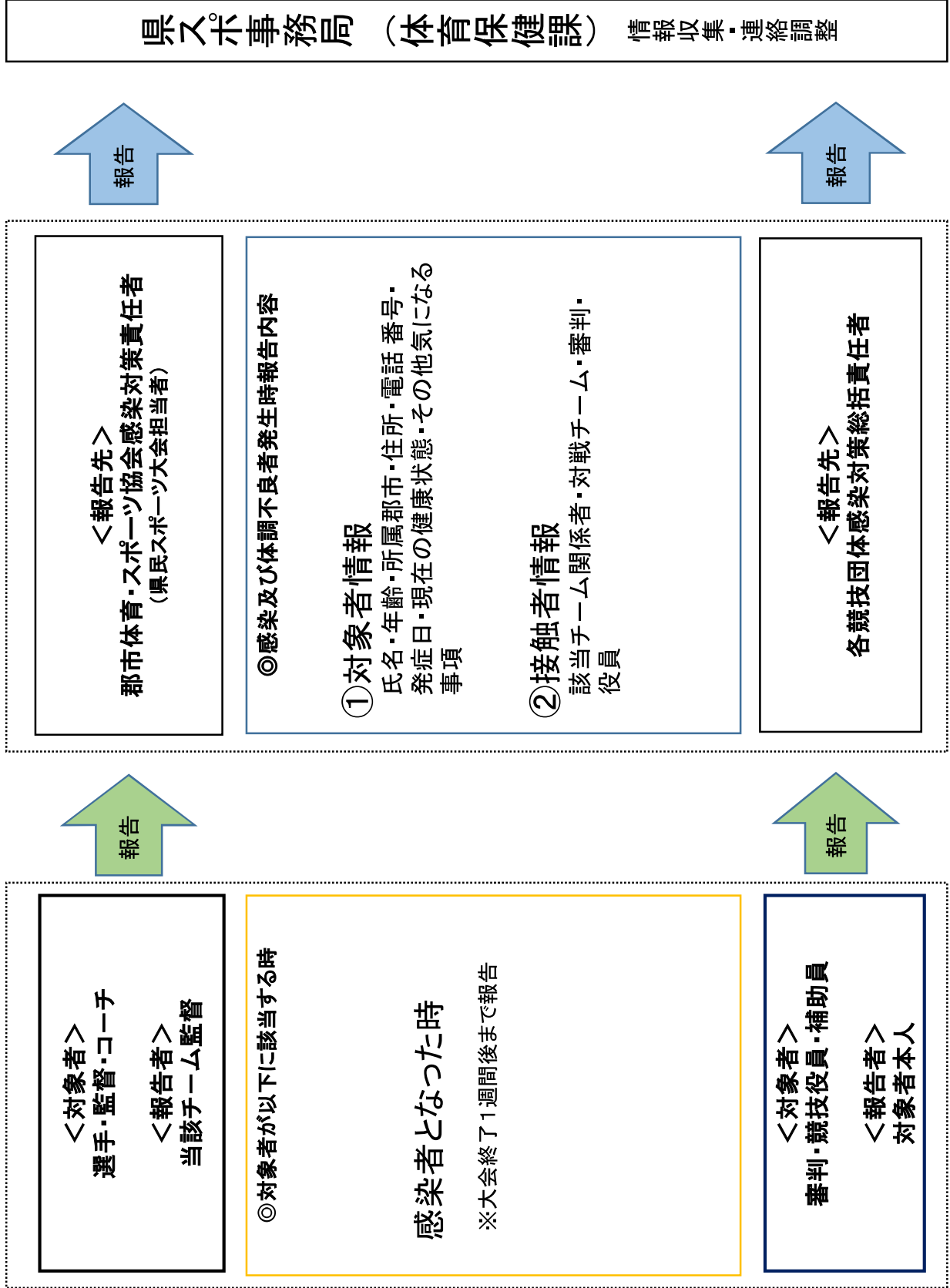
報告

県大会
事務局
 (体育保健課)

郡市体育・
スポーツ
協会
 (郡市
県大会担当者)

チェックの過程で参加できない者が出た場合、監督は当該郡市体育・スポーツ協会へ報告

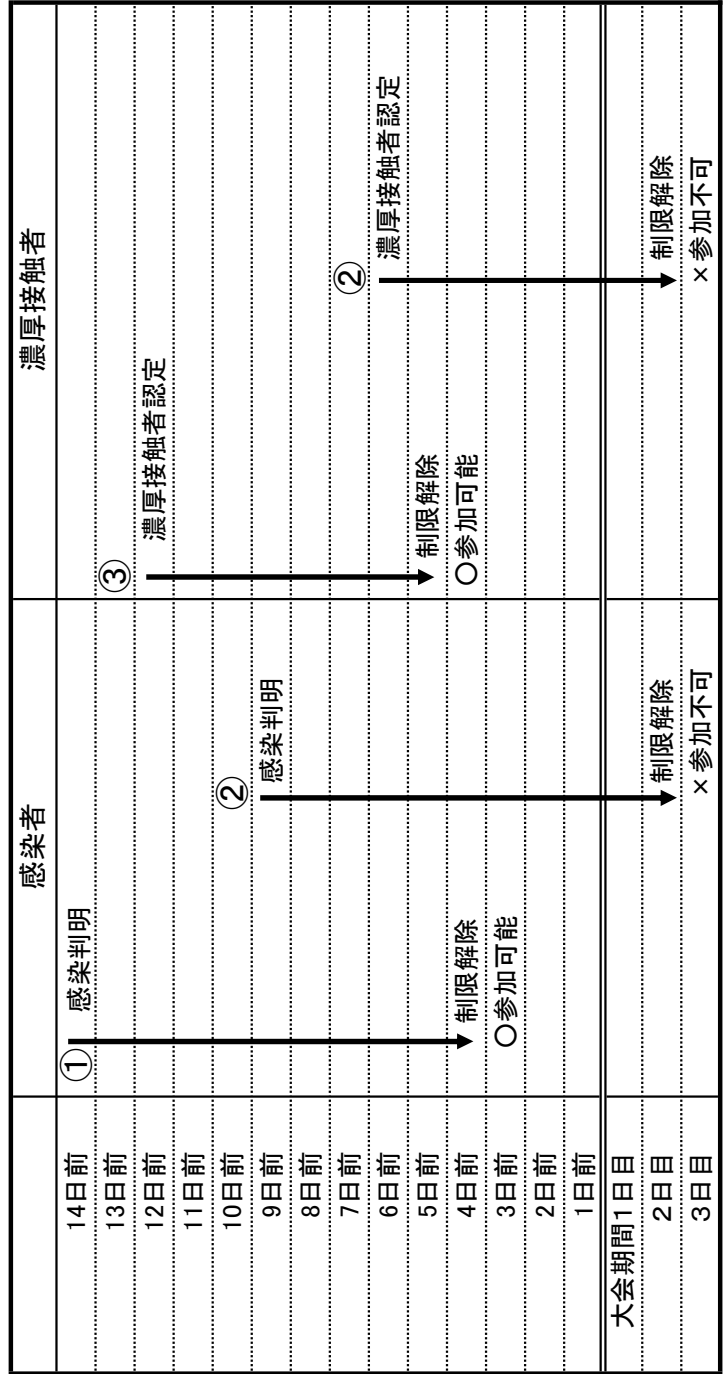
大会期間中・終了後の感染者発生時の対応



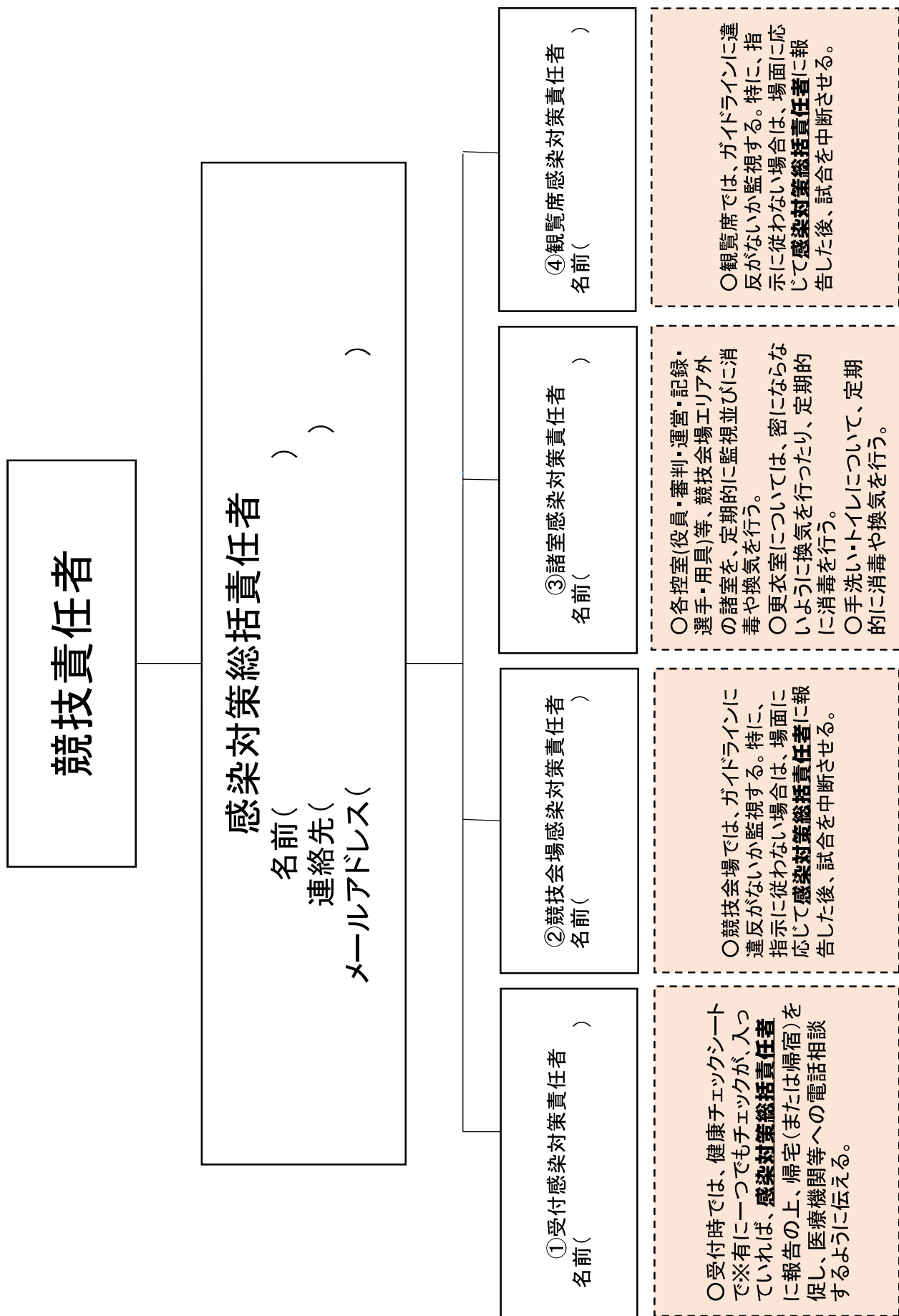
大会2週間前～大会3日目までの参加判断基準(○→参加可能、×→参加不可)

No.	状況	大会2週間前～1日前	大会初日～大会3日目
大会関係者 (選手・監督・スタッフ・ 競技役員・審判)	1 感染者	① × (療養期間中) ※子エックスシートにレ点があっても、療養期間が解除であれば参加可能	② 大会開催前から大会日程まで重なった場合は参加不可
	2 濃厚接触者	③ 濃厚接触から7日後(8日目から)○	本人 ×
	3 体調不良者	健康子エックスシートに、レ点が入れば× ※レ点があっても、医師の診断書があれば○	本人 × 健康子エックスシートに、レ点が入れば×

【イメージ図】



感染対策組織体制(例)



令和4年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 競技名 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

- ・全日本〇〇〇競技連盟ガイドライン R4.〇.〇
- ・大分県新型コロナウイルス感染症対策本部 R4.〇.〇からの情報等を 参考

2. 各競技運営上での感染対策について（以下の項目を参考して記載すること）

- ①競技会場受付での注意事項
- ②ロッカー（更衣）室や選手参集・待機所、コーチングエリアなどでの注意事項
- ③各競技会場での消毒、手洗い、換気等の注意事項
- ④手洗い場所・トイレでの注意事項
- ⑤控室・更衣室等の諸室での注意事項
- ⑥待機席での注意事項
- ⑦来場者への注意事項
- ⑧試合前後（試合間）の注意事項
- ⑨道具の取扱注意事項
- ⑩体調管理チェックシートの取扱注意事項
- ⑪その他

様式1 健康チェックシート（大会当日まで） 第75回大分県民スポーツ大会【 競技】

チェックシートは大会開催にあたり新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の皆様の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。感染者又は感染の疑いのある方が判明した場合には、必要な範囲で保健所等の関係機関に情報を提供することがありますことを予めご了承ください。

所属郡市		住所・連絡先	住所	電話 ()					
名前		大会14日前	13日前	12日前	11日前	10日前	9日前	8日前	
項目	日付	/	/	/	/	/	/	/	
体温	朝	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	
	夕	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	
健康状態	①のどの痛みがある	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	②咳（せき）が出たり、痰（たん）がでて、からんだりする	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	③鼻水、鼻づまりがある ※アレルギーを除く	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	④頭が痛い	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	⑤息苦しさがある	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	⑥だるさ（倦怠感）がある 体が重く感じる、疲れやすい	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	⑦味覚異常がある 嗅覚異常がある	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
行動歴	⑧新型コロナウイルスに感染（陽性）された方と濃厚接触（※1）がある	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	⑨同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
	⑩政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	

		7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	大会前日	大会当日
項目	日付	/	/	/	/	/	/	/	/
体温	朝	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	夕	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
健康状態	①	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	②	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	③	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	④	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	⑤	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	⑥	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	⑦	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
行動歴	⑧	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	⑨	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無
	⑩	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無

※1 濃厚接触とは、「新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と1m程度以内で、必要な感染予防策なしで、15分以上接触があった場合」と定義します。

※2 政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

● この健康チェックシートは大会会場入場の際に入口受付にて提出をお願いいたします。

● この健康チェックシートは一定期間保管した後、破棄します。

様式2

健康チェックシート (大会2日目以降)

記入日 月 日

名前 _____

所属郡市 ()

住所 _____

電話番号 _____

(※日中に連絡が取れる電話番号を記入してください)

以下の項目に記入をお願いします。

※過去14日間の体調も踏まえて、本日の体調及び状況についてお答えください。		
	体温	℃
健康調査	①のどの痛みがある	有 ・ 無
	②咳(せき)が出たり、痰(たん)がでたり、からんだりする	有 ・ 無
	③鼻水、鼻づまりがある※アレルギーを除く	有 ・ 無
	④頭が痛い	有 ・ 無
	⑤息苦しさがある	有 ・ 無
	⑥だるさ(倦怠感)がある	有 ・ 無
	体が重く感じる、疲れやすい	有 ・ 無
	⑦味覚異常・嗅覚異常がある	有 ・ 無
行動調査	⑧新型コロナウイルスに感染(陽性)された方と濃厚接触※1がある	有 ・ 無
	⑨同居家族や身近な知人に感染者、感染が疑われる方がいる	有 ・ 無
	⑩海外渡航(※2)	有 ・ 無

※1 濃厚接触とは、「新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と1m程度以内で15分以上接触があった場合」と定義します。同居家族や身近な知人に感染※1が疑われる方がいる

※2 政府から入国制限、入国後の観察時期が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

●この健康チェックシートは大会会場入場の際に入口受付にて提出をお願いいたします。

●この健康チェックシートは一定期間保管した後、破棄します。

